

2019年度 第3四半期 決算概要

I. 2019年度 第3四半期 連結業績概要 2019年度 通期 連結業績予想

II. 補足資料

2020年2月13日訂正

シャープ株式会社

2020年2月4日

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

I . 2019年度 第3四半期 連結業績概要 2019年度 通期 連結業績予想

- ・ 本日はご多忙な中、お集まり頂き ありがとうございます。
また日頃は、当社の広報(IR)活動にご協力頂き、まことにありがとうございます。
- ・ それでは、お手許にお配りしておりますパワーポイント資料に沿って、説明いたします。

2019年度 第3四半期 連結業績概要(1)

- 米中貿易摩擦が長期化するなど、
厳しい事業環境は継続したものの、
着実なトランスフォーメーションの進展などから、
2019年度 第3四半期も、安定した収益を確保
- 2018年度 第4四半期を底に回復基調にあり、
各利益は、第2四半期から、さらに大きく伸長
- 利益率も、引き続き上昇
営業利益率は 6四半期ぶりに 4.5%を上回り
最終利益率も 4%に迫る水準に

SHARP

2

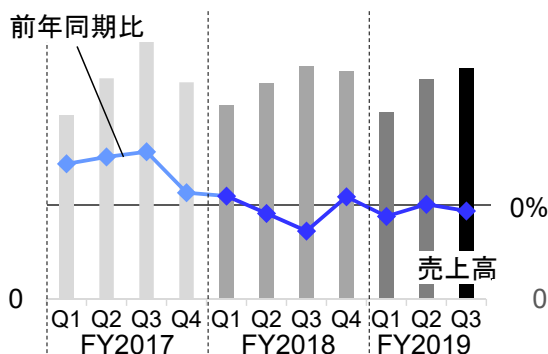
- まず、2019年度 第3四半期の連結業績の概要です。
- 米中貿易摩擦が長期化するなど、厳しい事業環境は継続いたしましたが、
着実にトランスフォーメーションを進めていることなどから、
2019年度の第3四半期も、安定した収益を確保することができております。
- 業績は、2018年度の第4四半期を底に 回復基調にあり、
各利益は、第2四半期から、さらに大きく伸長しました。
- 利益率につきましても、引き続き、上昇しております。
営業利益率は、6四半期ぶりに 4.5%を上回り、
最終利益率も、4%に迫る水準となっております。

2019年度 第3四半期 連結業績概要(2)

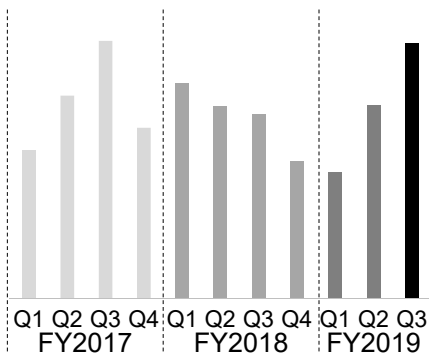
(単位:十億円)

	2018年度				2019年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	533.8	595.1	642.5	628.5	514.9	605.6	634.9	-1.2%
営業利益	24.8 (4.6%)	22.2 (3.7%)	21.2 (3.3%)	15.8 (2.5%)	14.6 (2.8%)	22.3 (3.7%)	29.4 (4.6%)	+38.5%
経常利益	21.2 (4.0%)	21.9 (3.7%)	18.8 (2.9%)	6.9 (1.1%)	13.9 (2.7%)	19.1 (3.2%)	31.0 (4.9%)	+64.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19.2 (3.6%)	21.7 (3.7%)	22.1 (3.4%)	11.1 (1.8%)	12.5 (2.4%)	14.8 (2.5%)	25.0 (3.9%)	+13.1%
平均為替レート								
ドル円	108.07	110.46	111.90	109.21	108.90	106.35	107.76	
ユーロ円	128.56	128.12	127.28	123.66	121.99	117.84	118.82	

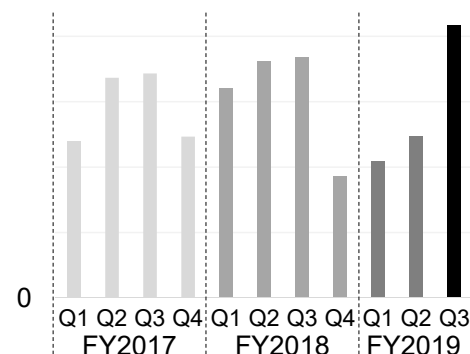
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



SHARP

3

・ 続いては、2019年度 第3四半期の業績数値です。

・ 売上高は、6,349億円となりました。

・ 利益は、
営業利益が 294億円、
経常利益が 310億円、
親会社株主に帰属する四半期純利益が 250億円となりました。

営業利益と経常利益は、前年同期から、それぞれ 38.5%、64.9%の大幅な増益となりました。

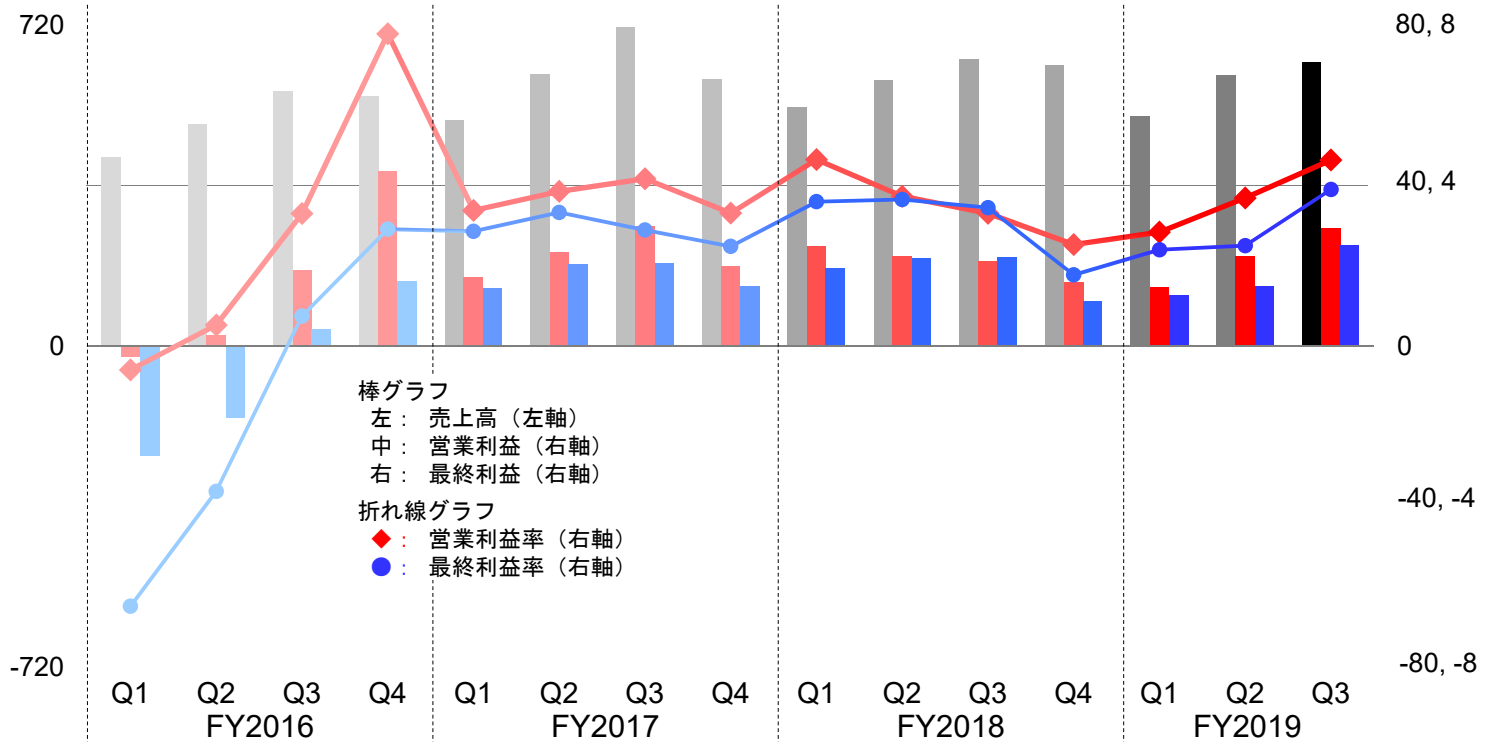
最終利益についても、負ののれんの発生益など、一過性要因のあった前年同期に対して、二桁の伸長となっております。

2019年度 第3四半期 連結業績概要(3)

- ・2019年度 第3四半期の業績は、2018年度 第4四半期を底として回復基調
- ・営業利益率・最終利益率は、3四半期連続で回復
- ・本業の収支となる営業利益率が、2018年度 第1四半期以来、6四半期ぶりに4.5%を上回る

(単位:十億円)

(単位:十億円, %)



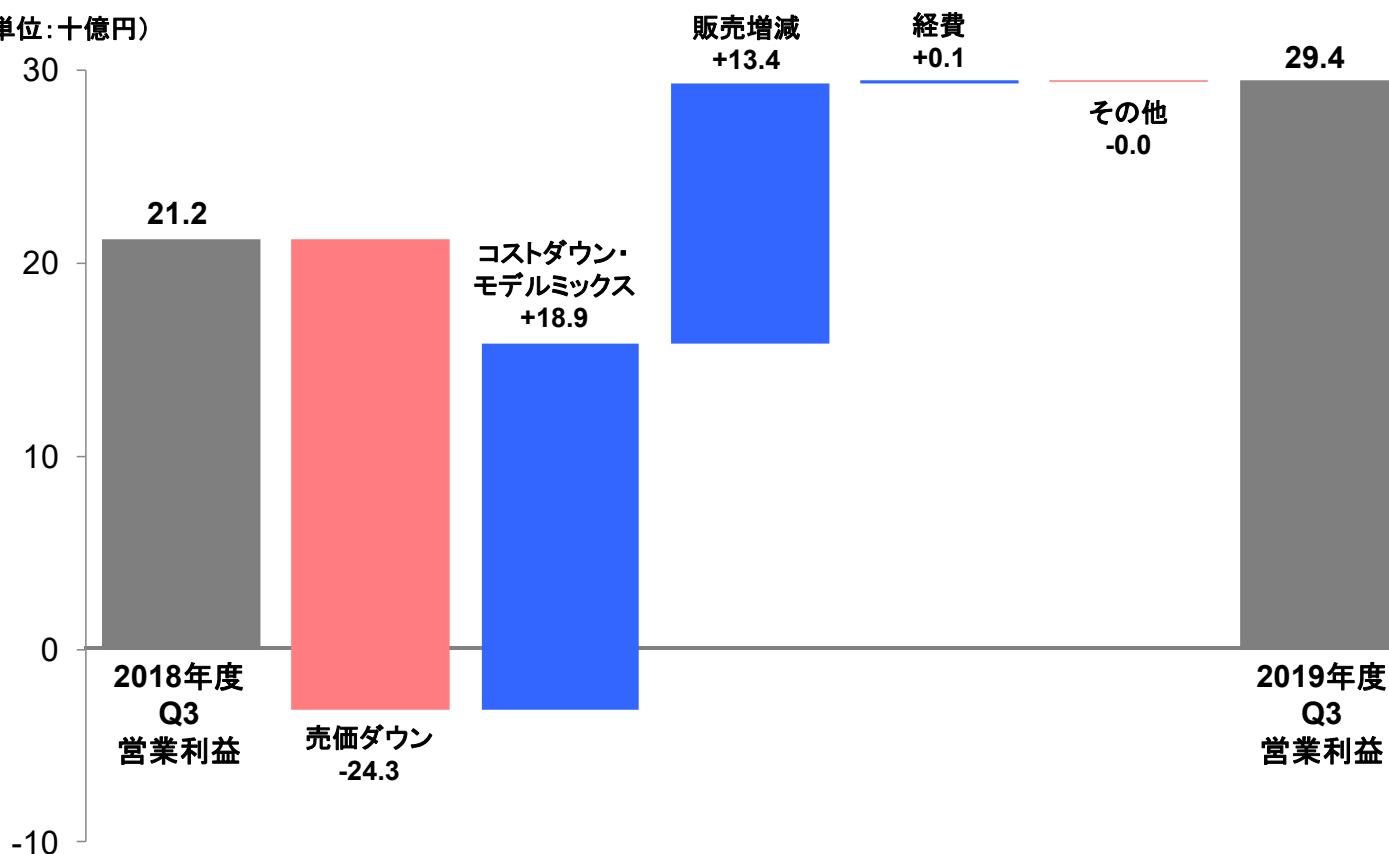
SHARP

4

- ・ 次のスライドは、四半期毎の業績の推移になります。
- ・ 2019年度 第3四半期も、2018年度 第4四半期を底とする 回復基調は継続しております。
- ・ 営業利益・最終利益は、第2四半期から大きく伸長し、利益率は、第1四半期以降、3四半期連続で回復しております。
- ・ ご覧のように、本業の収支となる 営業利益につきましては利益率が、2018年度 第1四半期以来、6四半期ぶりに 4.5%を上回っております。

2019年度 第3四半期 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(単位:十億円)



SHARP

5

- ・ 次のグラフは、前年同期からの 営業利益の増減を 要因別にまとめたものです。
- ・ 「売価ダウン」による 243億円の収益の減少、
「コストダウン・モデルミックス」による 189億円の収益の改善、
「販売増減」による 134億円の利益増などがありました。

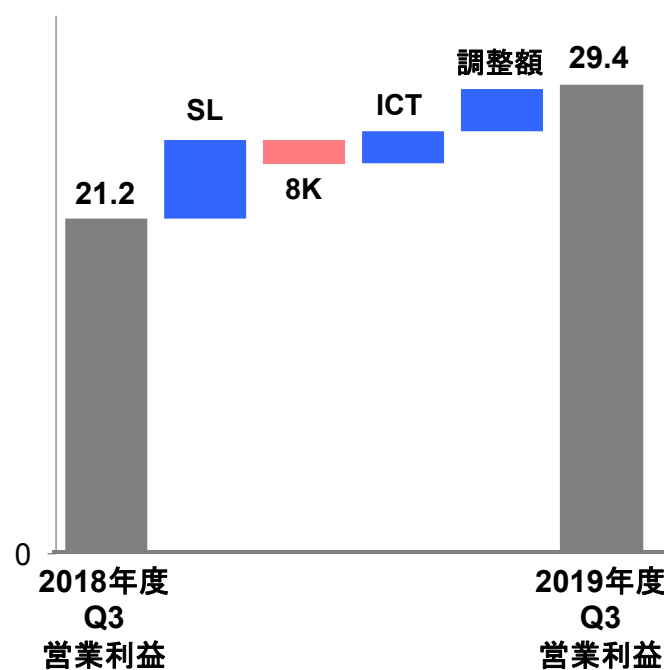
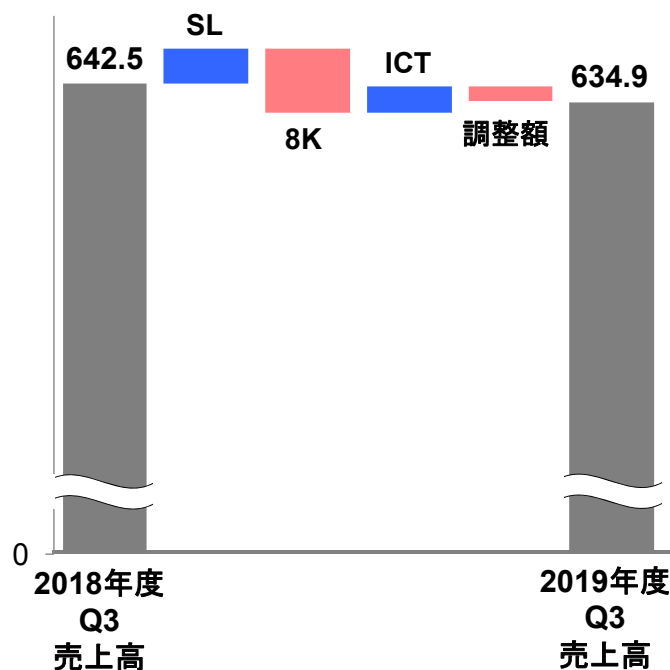
2019年度 第3四半期 セグメント別増減分析(対前年同期)

売上高

営業利益

(単位:十億円)

(単位:十億円)



SL :スマートライフ

8K :8Kエコシステム

ICT :ICT

SHARP

6

・ 次のスライドは、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめております。

・ 売上高につきましては、スマートライフとICTが増加した一方、8K エコシステムが減少しました。

また、利益につきましては、販売減に伴い8K エコシステムが減益となったものの、売上の伸長したスマートライフとICTが、増益となりました。

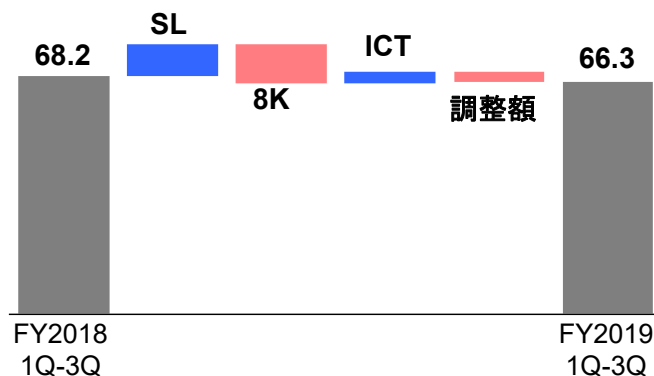
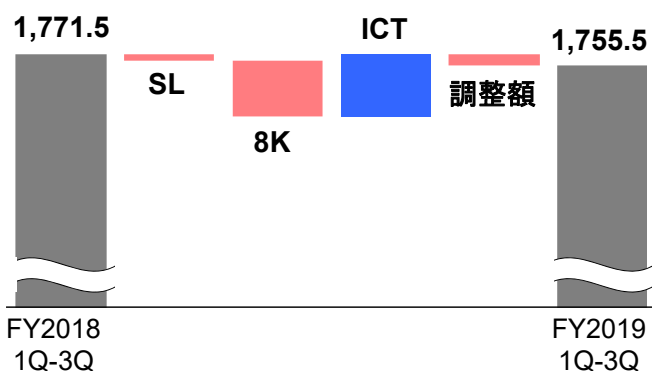
2019年度 第1～3四半期累計 連結業績概要

(単位:十億円)

	2018年度	2019年度	
	Q1-Q3	Q1-Q3	前同比
売上高	1,771.5	1,755.5	-0.9%
営業利益	68.2 (3.9%)	66.3 (3.8%)	-2.7%
経常利益	62.0 (3.5%)	64.1 (3.7%)	+3.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	63.0 (3.6%)	52.4 (3.0%)	-16.9%
平均為替レート			
ドル円	110.15	107.67	
ユーロ円	127.99	119.55	

売上高

営業利益



SHARP

7

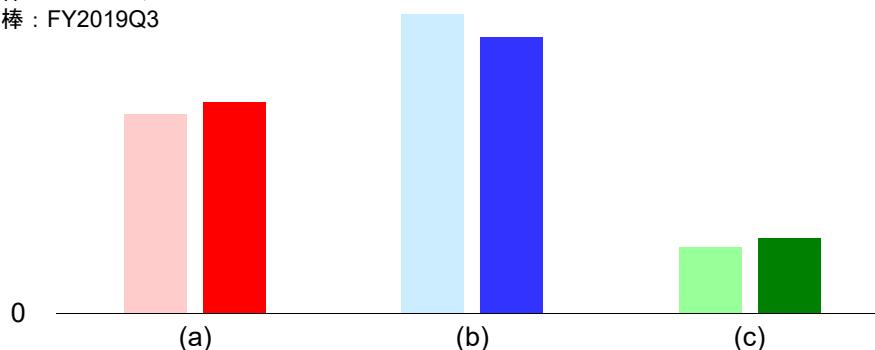
- ・ 続いては、2019年度 第3四半期までの累計の業績数値です。
- ・ 売上高は、1兆7,555億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益が 663億円、
経常利益が 641億円、
親会社株主に帰属する四半期純利益が 524億円となりました。

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2018年度				2019年度					
	Q1	Q2	Q3	Q1-Q3	Q1	Q2	Q3	前同比	Q1-Q3	前同比
(a) スマートライフ	203.6	235.7	233.6	673.0	181.0	233.9	247.5	+6.0%	662.6	-1.6%
(b) 8Kエコシステム	291.1	337.6	350.4	979.2	262.5	311.8	324.3	-7.4%	898.8	-8.2%
(c) ICT	56.4	43.1	77.7	177.3	96.2	83.1	88.4	+13.7%	267.7	+51.0%
小計	551.3	616.4	661.8	1,829.6	539.8	628.9	660.3	-0.2%	1,829.2	-0.0%
調整額	-17.4	-21.3	-19.3	-58.1	-24.8	-23.3	-25.4	-	-73.6	-
合計	533.8	595.1	642.5	1,771.5	514.9	605.6	634.9	-1.2%	1,755.5	-0.9%

左棒: FY2018Q3
右棒: FY2019Q3



SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

8

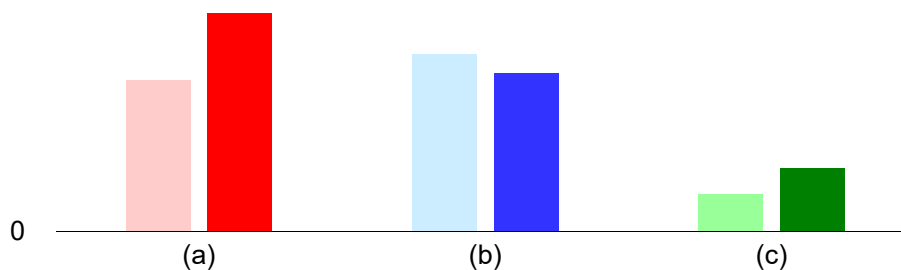
- ・ 次のスライドは、セグメント別 売上高の一覧です。
- ・ スマートライフの第3四半期の売上高は、前年同期比 6.0%増の 2,475億円となりました。
デバイス事業が前年同期を上回っております。
このほか、白物家電も、国内販売が消費増税の影響を受けたものの、海外でエアコンや冷蔵庫、洗濯機が伸長し、トータルで増収となりました。
- ・ 8K エコシステムは、7.4%減の 3,243億円となりました。
完成品のテレビが、消費増税の実施された国内などで減収となり、前年同期を下回りました。
また、ディスプレイデバイスは、顧客需要の回復に伴い、スマートフォン用パネルなどが伸長した一方、新製品の発売時期の違いなどから、PC・タブレット向けが 減収となり、車載向けなども 市場環境の影響を受けました。
- ・ ICTは、13.7%増の 884億円となりました。
通信は、キャリアの料金体系変更の影響があり、前年同期を下回りましたが、Dynabook株式会社や IoT事業の売上が伸長しております。

セグメント別営業利益

※()内の数字は営業利益率です。(単位:十億円)

	2018年度				2019年度					
	Q1	Q2	Q3	Q1-Q3	Q1	Q2	Q3	前同比	Q1-Q3	前同比
(a) スマートライフ	5.7 (2.8%)	9.0 (3.9%)	11.2 (4.8%)	26.1 (3.9%)	6.2 (3.5%)	12.5 (5.4%)	16.2 (6.6%)	+44.2%	35.1 (5.3%)	+34.5%
(b) 8Kエコシステム	14.1 (4.9%)	13.1 (3.9%)	13.2 (3.8%)	40.5 (4.1%)	6.5 (2.5%)	11.0 (3.5%)	11.7 (3.6%)	-11.1%	29.3 (3.3%)	-27.6%
(c) ICT	7.2 (12.8%)	2.2 (5.3%)	2.7 (3.5%)	12.2 (6.9%)	7.3 (7.6%)	3.5 (4.3%)	4.7 (5.3%)	+70.5%	15.5 (5.8%)	+27.4%
小計	27.0 (4.9%)	24.5 (4.0%)	27.2 (4.1%)	78.8 (4.3%)	20.1 (3.7%)	27.2 (4.3%)	32.7 (5.0%)	+20.0%	80.0 (4.4%)	+1.5%
調整額	-2.2	-2.3	-5.9	-10.6	-5.5	-4.8	-3.2	-	-13.6	-
合計	24.8 (4.6%)	22.2 (3.7%)	21.2 (3.3%)	68.2 (3.9%)	14.6 (2.8%)	22.3 (3.7%)	29.4 (4.6%)	+38.5%	66.3 (3.8%)	-2.7%

左棒 : FY2018Q3
右棒 : FY2019Q3



SHARP

9

- ・ 続いては、セグメント別 営業利益の一覧になります。
各セグメントとも、黒字になっております。
- ・ スマートライフの第3四半期の営業利益は、
前年同期比 44.2%増の 162億円となりました。
増収となったことに加え、コストダウンによる効果などもありました。
- ・ 8K エコシステムは、前年同期比 11.1%減の 117億円となりました。
米中貿易摩擦が長期化したことに加え、消費増税の影響などもありましたが、
コストダウンを推進したことなどから、黒字を確保しております。
なお、ディスプレイ事業につきましても、引き続き 黒字となっております。
- ・ ICTは、前年同期比 70.5%増の 47億円となりました。
通信事業は、販売の減少に伴い 減益となったものの、
引き続き 安定的に収益を計上しております。
また、Dynabook株式会社も、黒字を継続しております。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2018年度		2019年度					
	Q3	Q1-Q3	Q1	Q2	Q3	前同 増減額	Q1-Q3	前同 増減額
営業利益	21.2	68.2	14.6	22.3	29.4	+8.2	66.3	-1.9
営業外損益	-2.4	-6.2	-0.6	-3.1	+1.5	+3.9	-2.2	+4.0
内:支払利息	-1.1	-3.3	-1.2	-1.0	-1.3	-0.2	-3.6	-0.3
為替差損益	-0.7	-4.4	+0.1	-0.7	+1.7	+2.4	+1.1	+5.5
持分法による投資損益	-1.9	-5.2	-0.9	-1.6	-0.7	+1.2	-3.2	+2.0
経常利益	18.8	62.0	13.9	19.1	31.0	+12.2	64.1	+2.1
特別損益	+6.5	+7.9	+0.0	+0.1	+0.2	-6.3	+0.4	-7.5
税前利益	25.3	69.9	13.9	19.3	31.3	+6.0	64.5	-5.4
法人税等 他	-3.2	-6.8	-1.4	-4.4	-6.2	-3.0	-12.1	-5.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	22.1	63.0	12.5	14.8	25.0	+2.9	52.4	-10.6

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ ご覧のように、2019年度 第3四半期には、
大きな「営業外損益」、「特別損益」はありませんでした。

連結貸借対照表推移

- ・現預金は、9月末の2,117億円に対し、2,159億円に
- ・安定的な利益の計上により、純資産・自己資本比率は引き続き上昇

(単位:十億円)

	2018年度		2019年度			2018年度		2019年度	
	3月末	9月末	12月末	3月末		9月末	12月末	3月末	9月末
現預金	266.6	211.7	215.9	支払手形・買掛金	410.3	379.4	392.7		
受取手形・売掛金	539.9	510.0	511.9	短期借入金	81.4	219.2	237.0		
たな卸資産	243.8	268.1	298.3	1年内社債	30.0	0.0	0.0		
その他	90.9	120.7	128.2	その他	291.3	300.8	291.6		
流動資産計	1,141.3	1,110.7	1,154.4	流動負債計	813.1	899.5	921.4		
有形固定資産	405.0	410.8	423.1	社債	0.0	0.0	0.0		
無形固定資産	39.6	43.3	44.6	長期借入金	538.2	537.3	539.0		
投資その他資産	280.2	300.3	308.3	その他	142.5	135.2	134.2		
固定資産計	724.9	754.5	776.0	固定負債計	680.7	672.5	673.3		
繰延資産	0.0	0.0	0.0	純資産	372.4	293.1	335.7		
資産合計	1,866.3	1,865.2	1,930.4	負債純資産合計	1,866.3	1,865.2	1,930.4		
期末日レート									
ドル円	110.01	106.96	108.55	自己資本比率	18.8%	14.7%	16.3%		
ユーロ円	123.06	116.54	121.01	自己資本	350.6	273.8	313.7		

SHARP

11

- ・ 続いては、貸借対照表の推移です。
- ・ 12月末の「現預金」は、9月末の2,117億円に対し、2,159億円に増加しております。

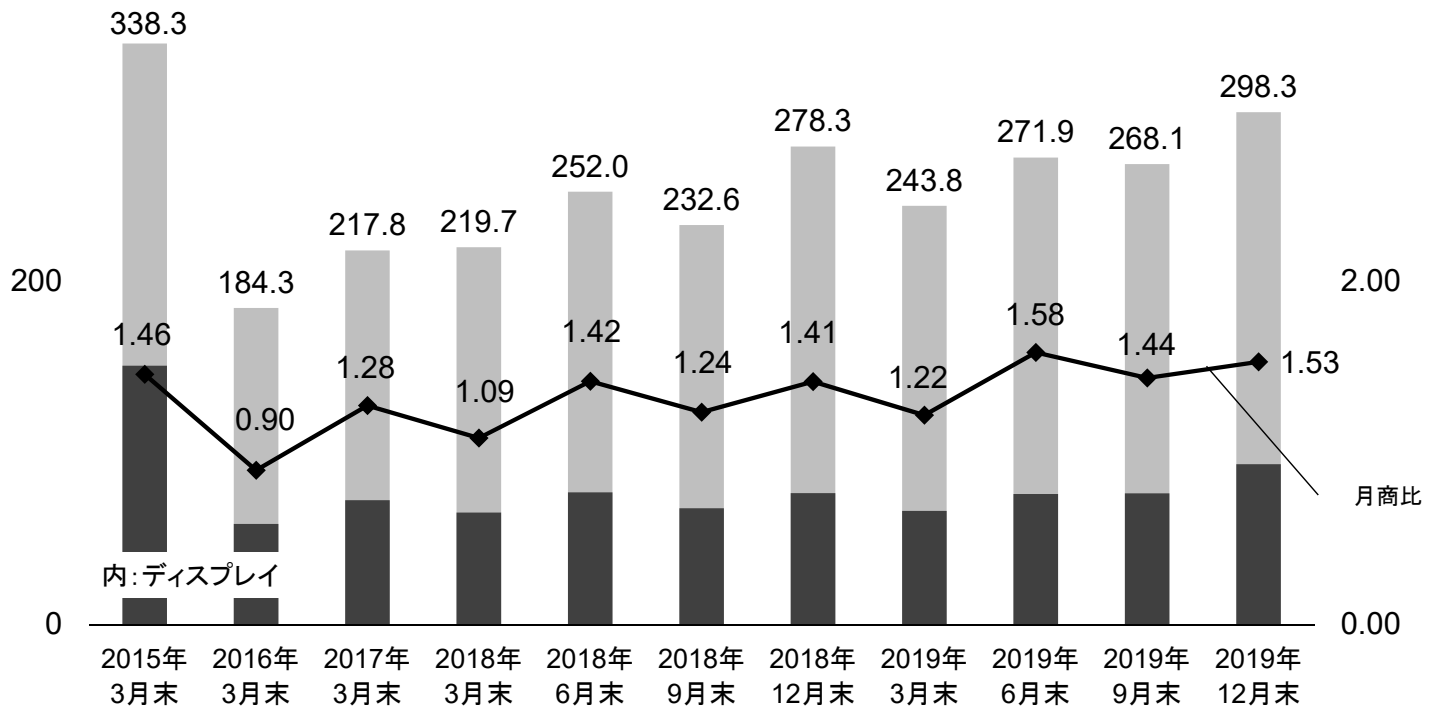
また、安定的に利益を計上していることから「純資産」は 3,357億円に増加し、「自己資本比率」も、16.3%に上昇しております。

たな卸資産の推移

- ・たな卸資産は、2019年9月末の2,681億円に対し、2,983億円に
- ・今後の販売計画等を勘案し、引き続き適正な在庫水準を維持

(単位:十億円)

(単位:ヶ月)



SHARP

12

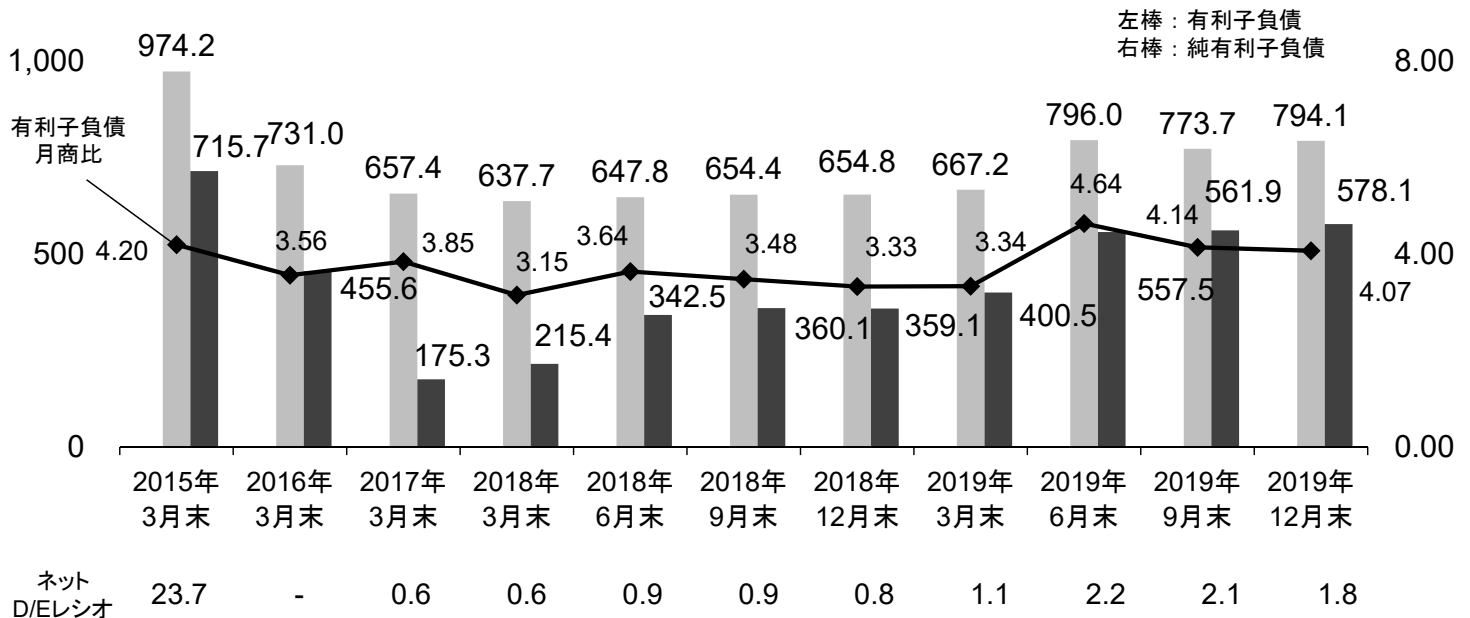
- ・ 次のスライドをご覧ください。「たな卸資産」の推移になります。
- ・ 2019年度 第3四半期末の「たな卸資産」は、第2四半期末の 2,681億円から 2,983億円に増加し、月商比は、0.09ヶ月増の 1.53ヶ月となっております。
これは、第4四半期以降の販売計画に基づいて、必要となる製品やデバイスを確保したことに加え、PC向けCPUの供給が想定以上にタイトな状況となったことに伴い、顧客需要に変動が生じ、一時的にPC向けパネルの在庫が増加したことなどによるものです。
- ・ デバイス顧客の需要動向をはじめ、事業環境の変化をさらに注視し、適正な在庫水準の維持に努めてまいります。

有利子負債の推移

- ・有利子負債は、2019年9月末の7,737億円に対し、7,941億円に
月商比は、4.14ヶ月に対し、4.07ヶ月に
- ・純有利子負債※は、9月末の5,619億円に対し、5,781億円になる

(単位:十億円)

(単位:ヶ月)



※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

SHARP

13

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 2019年度 第3四半期末の有利子負債は、
第2四半期末の 7,737億円に対し、7,941億円となりました。
- 純有利子負債は、
第2四半期末の 5,619億円に対し、5,781億円となっております。
- ・ 今後とも、在庫の適正化や、効率的な設備投資の実施に努め、
キャッシュフローの改善を図ります。

2019年度 通期 連結業績予想(1)

- 米中貿易摩擦の長期化など
不確実性の高い状況が続く状況下でも、
2018年度 第4四半期を底とする回復基調は継続
- 第4四半期の売上高・利益は、第3四半期を上回る見込み
- デバイス事業の需要回復が想定より後ずれしたこと、
一部で部材隘路の影響が見られることなどから、
量より質を優先する方針を再徹底
- これに伴い、業績予想の見直しを行う
売上高は、通期予想を修正、
各利益は、期初予想を据え置く

SHARP

14

- 次のスライドをご覧ください。2019年度 通期の連結業績予想です。
- 米中貿易摩擦の長期化など、厳しい事業環境は続いているものの、
2018年度 第4四半期を底とする回復基調は継続しており、
2019年度 第4四半期の業績は、第3四半期を上回る見込みです。
- 利益は、第3四半期まで、ほぼ想定線で推移いたしましたが、
デバイス事業の需要回復が想定より後ずれし、部材隘路の影響が見られるなど、
事業環境につきましては、一部で想定と差異が生じております。

こうしたことから、量より質を優先し、売上より利益の確保を優先する方針を再徹底しております。

また、これに伴い、業績予想の見直しも行っております。

売上高は、通期予想を修正する一方、
各利益は、期初予想を据え置いております。

なお、新型コロナウイルスにつきましては、その動向を注視しておりますが、現時点で、当社業績への影響を合理的に算出することは困難でありますので、今回の業績予想には、織り込んでおりません。

2019年度 通期 連結業績予想(2)

(単位:十億円)

	2018年度	2019年度					2019年度	
	通期	Q1	Q2	Q3	Q4差引	通期予想	前年比	期初予想
売上高	2,400.0	514.9	605.6	634.9	694.4	2,450.0	+2.1%	2,650.0
営業利益	84.1	14.6	22.3	29.4	33.6	100.0	+18.8%	100.0
(利益率)	(3.5%)	(2.8%)	(3.7%)	(4.6%)	(4.8%)	(4.1%)		(3.8%)
経常利益	69.0	13.9	19.1	31.0	30.8	95.0	+37.7%	95.0
(利益率)	(2.9%)	(2.7%)	(3.2%)	(4.9%)	(4.4%)	(3.9%)		(3.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	74.2	12.5	14.8	25.0	27.5	80.0	+7.8%	80.0
(利益率)	(3.1%)	(2.4%)	(2.5%)	(3.9%)	(4.0%)	(3.3%)		(3.0%)
平均為替レート								
ドル円	109.91	108.90	106.35	107.76				
ユーロ円	126.90	121.99	117.84	118.82				

(注) 新型コロナウイルスによる当社業績への影響については、業績予想に織り込んでおりません。

SHARP

15

- ・ 次は、業績予想の数値になります。
- ・ 売上高は、前年度比 2.1%増の 2兆4,500億円としております。
- ・ 利益につきましては、期初予想を据え置き、
営業利益を、前年度比 18.8%増の 1,000億円、
経常利益を、37.7%増の 950 億円、
親会社株主に帰属する当期純利益を、7.8%増の 800億円としております。

2019年度 下期の主な取り組み

「8K+5GとAIoTで世界を変える」の実現に向け、
トランスフォーメーションの加速による成長力の強化を進める

- (1) 顧客需要の回復を着実に取り込むことで、
デバイス事業やディスプレイ事業は大幅に回復
- (2) 新規顧客を獲得し、欧米・中国などグローバルで事業を拡大
- (3) エネルギー事業を始め、白物家電やテレビでもB2B事業を強化
- (4) 5Gサービスの開始にあわせ、タイムリーに対応機器を展開
- (5) 8K機器など新規商材による事業の強化
- (6) IoTやクラウド、スマートライフなどのサービスを拡大
- (7) 異業種協業やM&Aなども活用し、上記の施策を着実に実現

SHARP

16

- ・ 次のスライドは、上期の決算発表時にお示した 下期の主な取り組みです。
- ・ 第3四半期は、
顧客需要の確実な取りこみを図ったデバイスやディスプレイに加え、
IoT事業などの売上も、第2四半期から 増加しました。
また、8K対応テレビの新モデルを発売するなど、8K関連機器を拡充したほか、
グローバルでのローカルフィット製品の投入や、B2B事業の展開なども、
着実に進めております。
- ・ 第4四半期につきましては、
アジアなどグローバルでの売上拡大、B2B事業の伸長などに加え、
5G関連機器の販売も見込んでおります。
このほか、第3四半期から後ずれした案件も、第4四半期の業績に
寄与する見込みです。
- ・ 2020年度以降につきましても、8K、5G、AIoTに関する取り組みを中心に、
事業拡大を図ってまいります。

現在、さまざまな施策を精査し、中期経営計画の策定を進めております。
皆さまには、2019年度 通期の決算発表後、2020年5月以降に機会を設け、
ご説明させていただきたいと考えております。

Ⅱ. 補足資料

- ・ 補足資料として、「セグメント別売上高・営業利益」等の実績をまとめております。
- ・ 当社の業績は、米中貿易摩擦の影響がある中、着実に回復しており、2018年度 第1四半期並みの利益水準を回復することができました。
しかしながら、新型コロナウイルスの動向など、不確定要素も多く、依然として 予断を許さない状況は続くものと思われます。
環境の変化に対応した 柔軟な事業経営を行うとともに、
トランスフォーメーションを継続し、
さらなる業績の回復、財務体質の改善、株主価値の向上を図ってまいります。
- ・ また、2020年度以降は、現在策定中の新たな中期経営計画のもと、「次の100年に向けた持続的成長」ステージへと舵を切り、皆様から、さらに信頼していただける企業を目指してまいります。
- ・ ご清聴ありがとうございました。

連結業績概要

(単位:十億円)

	2018年度			2019年度		
	上期	下期	通期	上期	下期差引	通期予想
売上高	1,129.0	1,271.0	2,400.0	1,120.6	1,329.3	2,450.0
営業利益	47.0	37.1	84.1	36.9	63.0	100.0
(利益率)	(4.2%)	(2.9%)	(3.5%)	(3.3%)	(4.7%)	(4.1%)
経常利益	43.2	25.7	69.0	33.1	61.8	95.0
(利益率)	(3.8%)	(2.0%)	(2.9%)	(3.0%)	(4.7%)	(3.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	40.9	33.2	74.2	27.3	52.6	80.0
(利益率)	(3.6%)	(2.6%)	(3.1%)	(2.4%)	(4.0%)	(3.3%)

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	2018年度				2019年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	533.8	595.1	642.5	628.5	514.9	605.6	634.9
営業利益	24.8	22.2	21.2	15.8	14.6	22.3	29.4
(利益率)	(4.6%)	(3.7%)	(3.3%)	(2.5%)	(2.8%)	(3.7%)	(4.6%)
経常利益	21.2	21.9	18.8	6.9	13.9	19.1	31.0
(利益率)	(4.0%)	(3.7%)	(2.9%)	(1.1%)	(2.7%)	(3.2%)	(4.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19.2	21.7	22.1	11.1	12.5	14.8	25.0
(利益率)	(3.6%)	(3.7%)	(3.4%)	(1.8%)	(2.4%)	(2.5%)	(3.9%)

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2018年度			2019年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	439.4	459.1	898.6	415.0
8Kエコシステム	628.7	684.7	1,313.5	574.4
ICT	99.5	181.3	280.9	179.3
小計	1,167.8	1,325.2	2,493.0	1,168.8
調整額	-38.7	-54.2	-93.0	-48.1
合計	1,129.0	1,271.0	2,400.0	1,120.6

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2018年度			2019年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	14.8 (3.4%)	16.5 (3.6%)	31.4 (3.5%)	18.8 (4.5%)
8Kエコシステム	27.3 (4.3%)	20.0 (2.9%)	47.3 (3.6%)	17.6 (3.1%)
ICT	9.4 (9.5%)	11.3 (6.3%)	20.8 (7.4%)	10.8 (6.1%)
小計	51.6 (4.4%)	48.0 (3.6%)	99.6 (4.0%)	47.3 (4.1%)
調整額	-4.6	-10.9	-15.5	-10.4
合計	47.0 (4.2%)	37.1 (2.9%)	84.1 (3.5%)	36.9 (3.3%)

※()内の数字は営業利益率です。

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2018年度				2019年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ	203.6	235.7	233.6	225.5	181.0	233.9	247.5
8Kエコシステム	291.1	337.6	350.4	334.2	262.5	311.8	324.3
ICT	56.4	43.1	77.7	103.5	96.2	83.1	88.4
小計	551.3	616.4	661.8	663.4	539.8	628.9	660.3
調整額	-17.4	-21.3	-19.3	-34.8	-24.8	-23.3	-25.4
合計	533.8	595.1	642.5	628.5	514.9	605.6	634.9

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2018年度				2019年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ	5.7 (2.8%)	9.0 (3.9%)	11.2 (4.8%)	5.3 (2.4%)	6.2 (3.5%)	12.5 (5.4%)	16.2 (6.6%)
8Kエコシステム	14.1 (4.9%)	13.1 (3.9%)	13.2 (3.8%)	6.8 (2.1%)	6.5 (2.5%)	11.0 (3.5%)	11.7 (3.6%)
ICT	7.2 (12.8%)	2.2 (5.3%)	2.7 (3.5%)	8.6 (8.3%)	7.3 (7.6%)	3.5 (4.3%)	4.7 (5.3%)
小計	27.0 (4.9%)	24.5 (4.0%)	27.2 (4.1%)	20.8 (3.1%)	20.1 (3.7%)	27.2 (4.3%)	32.7 (5.0%)
調整額	-2.2	-2.3	-5.9	-4.9	-5.5	-4.8	-3.2
合計	24.8 (4.6%)	22.2 (3.7%)	21.2 (3.3%)	15.8 (2.5%)	14.6 (2.8%)	22.3 (3.7%)	29.4 (4.6%)

※()内の数字は営業利益率です。

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2018年度			2019年度		
	上期	下期	通期	上期	下期差引	通期予想
設備投資	27.8	28.1	55.9	29.3	40.7	70.0
内:ディスプレイ	9.2	14.5	23.8	10.2	23.2	33.4
減価償却費	34.5	37.3	71.9	30.8	39.2	70.0
研究開発費	53.8	54.7	108.5	49.9	60.1	110.0

(単位:円)

平均為替レート	2018年度			2019年度	
	上期	下期	通期	上期	下期予想
米ドル	109.27	110.55	109.91	107.63	105.00
ユーロ	128.34	125.47	126.90	119.91	120.00

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2018年度				2019年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
設備投資	11.3	16.4	14.7	13.4	9.0	20.2	23.8
内:ディスプレイ	4.4	4.7	8.3	6.2	3.6	6.6	5.5
減価償却費	17.1	17.3	18.9	18.4	14.9	15.9	18.0
研究開発費	30.4	23.3	32.0	22.6	28.9	21.0	24.9

(単位:円)

平均為替レート	2018年度				2019年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
米ドル	108.07	110.46	111.90	109.21	108.90	106.35	107.76
ユーロ	128.56	128.12	127.28	123.66	121.99	117.84	118.82

SHARP

Be Original.

